

試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません

令和8年度個別学力検査(後期日程)

小 論 文

(畜産科学課程)

試験時間 90分

注意事項

- 1 問題用紙はこの表紙と2枚目の白紙を含めて3枚です。
- 2 この問題用紙のほかに、解答用紙が2枚、下書き用紙(色のついた用紙)が1枚(両面)あります。
- 3 解答開始の合図の後、解答用紙の所定欄に受験番号を記入すること。
- 4 解答は、解答用紙の所定欄に記入すること。うら面に記入したものは採点しない。
- 5 問題用紙及び下書き用紙は、持ち帰りなさい。

(白 紙)

問題

世界中で地球温暖化による気候変動が食料生産に影響を及ぼしている。1981年から2010年の30年間で、世界全体での生産量が、主な穀物のトウモロコシでマイナス4.1%、コムギでマイナス1.8%、ダイズでマイナス4.5%とそれぞれ低下した。これによって、年間約424億ドル相当の損失になると算出された*。

日本でも平均気温の上昇に伴い、真夏日や猛暑日が増加し、大雨の頻発など異常気象も起きている。そのため、多くの農作物で高温障害や生育不良、収量減少、品質低下が報告されている。また畜産業においても、家畜の熱ストレスによる生産性の低下などの影響が生じている。一方で畜産業は温室効果ガスの排出源の一つでもあり、気候変動を加速させる側面を併せ持つ。こうした問題は、将来的に国内の安定した食料供給や地域経済だけでなく、国際的な食料市場にまで不確実性をもたらすものと危惧されている。

上記を踏まえ今後の農畜産業に対してどのような対策が必要か、あなたが本学で学びたいと考えていることを想定して、あなたの考える対策と貢献を具体的に1000文字程度で説明しなさい。

* : Iizumi T, Shinogama H, Hanasaki N, Takikawa M, Nishimori M. Crop production losses associated with anthropogenic climate change for 1981–2010 compared with preindustrial levels. *Int Climatol.* 2018 28:5405-5417 から引用